

## 今年も相馬へ「富山米」を届ける（交流会も開催）

今月一日から四日にかけて、東日本大震災被災地支援プロジェクト「今年も相馬へ富山米を送ろう！」として昨年度に引き続いて支援米が募集され、教区内寺院四十六ヶ寺・門信徒二百九十名・十五団体より昨年を上回る七トンの新米が寄せられた。三日には、飯館村の三、四十代の青年たち九名が訪問され、仕分け作業に参加された。（写真）



支援米は飯館村の方たちと門徒推進員の方々によって五キロごとに袋詰めされ、箱詰めされた支援米が高々と積み上げられた。支援米の内、五トン余りが相馬組寺院の報恩講に合わせて搬送され、各寺院を通して、避難中の門信徒に届けられている。また、残り二トンの支援米も今年中に有縁の仮設住宅や「見なし仮設」に住む方

たちに搬送される手筈となっている。

今回、飯館村の方たちの訪問に併せて三日の夕刻に交流会が開催され、三十名の参加のもと、報道されない過酷な現地の実状や故郷に対する想いを伺った。

「天皇皇后両

陛下が飯館村を訪問され、その模様が新聞やテレビで報道されましたが、『陛下が訪問されているなら、飯館村はもう大丈夫なんだ』というイメージが広がった。しかし、村の九十七％は未除染のままで、未だに放射線量が高く、人が住める状態ではないのが実状です。」

「村では飯館牛というブランド牛を育てていました。牛や牛舎は村民の誇り・命といっても過言ではありません。私も身も村で管理していた牛舎で働き、酪農家を志していました。が、今回のことで牛を全て処分しなければならず、夢を断たれ、職も失ってしまいました。しかし、何より許せないのは、村民の誇りであった牛舎を、国が勝手に汚染された草木や糞を運び込む集積場として使ったことです。恐らくは飯館村を汚染土壌や瓦礫の処分場にする前提だったのでしょう。職を失った今は『飯館村見守り隊』という自警団ボランティアの事務局をしています。未だに無人の村に泥棒に入る者が後を絶たないからです。」

「アパートやマンションなどの『見なし仮設』に避難している方たちが、大家から契約更新を断られるケースが相次いでいます。そのような『見なし仮設』は県から家賃が支払われているのですが、振り込みが半年に一度という形式のため、毎月の現金収入が欲しい大家側に迷惑がられるからです。いくら県側に改善を陳情しても未だに聞き入れてくれません。」

等 国や行政の思惑に振り回され、二重三重の苦しみを受けている深刻な実状をお話しいただいた。

高岡教区では今後も継続的な支援と交流を計画しており、十二月二十五日、二十七日には支援班を派遣し、福島県内の仮設住宅にて餅つきとぜんざいの炊き出しを企画している。

（詳細および募集は同封の別紙参照）

## 西本願寺高岡会館 報恩講法要のご案内

下記の通り高岡会館の報恩講を勤めます。お誘いあわせてお参りください。

日時：11月26日（火） 日中 午前10時・速夜 午後1時半

布教：立川 証師（小矢部市興法寺 浄教寺住職）

お昼にお斎（お弁当）を準備しております。午前・午後あわせてお参りください。

## 仏婦連盟が被災地に新米を届ける

高岡教区仏教婦人会連盟が、十月二十九日から三十一日にかけて、「東日本大震災ボランティア並びに現地研修」を開催し、会員十八名が参加した。これは昨年に引き続き、宮城県名取市内の二ヶ所の仮設住宅へ新米をお渡しする活動に併せて、会員に被災地の現状を見てもらうとともに、ボランティア活動を通して、復興が緒にいたればかりの被災地の方々へ思いを寄せ支援活動を続けることにもつながっていくのではないかとということから開催されたもの。

この現地研修を実施するにあたって、各単位会には一袋五キロ入りの新米の提供の依頼がなされ、百六十袋を超えるお米とメッセージが寄せられた。また、これとは別に十万円を超える



支援金が寄せられ、お米の購入に充てられた。

参加者は、福島県いわき市久之浜町の浜風商店街や塩屋崎岬で有名な山六観光センターを訪問。同センターでは、男性職員から津波が襲ってきたときの状況について話を伺ったが、「十二メートルを超える津波に

よって五百人以上いた住民の約四割にあたる二百人ほどの人が亡くなったが、津波が来るまでに避難する時間が充分あったにもかかわらず、沢山の人が犠牲になった。その一番の要因は津波に対する無知。津波は大小合わせると十回以上襲ってきたが、一回目の津波が引いたときもう大丈夫だと思っ高台から降りて行った人、あるいは二回目の津波が引いていった時には海岸の一キロメートルほどの沖合がまで水が引いていったが、その様子をわざわざ砂浜に降りて見に行った人さえもあり、そんな人がみんな亡くなってしまった。津波のことを次世代の人に知っておいてもらうためにも、今回の津波のことを語り継いでいきたい」とのことであった。

翌三十日には名取市の箱塚桜(九十六戸)と愛島仮設住宅(百七十五戸)を訪問。昨年に続いている訪問ということから親近感をもっていたいただいたようで、中には震災によってもたらされた将来の不安など、自身のつらい胸の内を話してくださいる方がおられるなど、言葉をかけて頂く場面が多くあった。午後には宮城県石巻市で津波の大きな被害があった称法寺を訪問し、細川雅美住職から東日本大震災発生当時についてお話を伺った。

参加者からは、「実際に被災地に身を置いて初めて被害の大きさを実感することができたし、直接話を伺うことで被災者の方々がどのような抱いておられるのか感じることができた。それは新聞やテレビなどの報道とは全然違っていた。地元に戻ったら一人でも多くの人にこのことを話したい」「仮設住宅の皆さんと親しく話すことができた。それは昨年の活動があったからだと思う。継続することの大切さを感じた」などの声が聞かれた。教区仏教婦人会連盟では、今後も継続した支援活動を行っていくことを検討している。

### 高岡会館報恩講お初夜「親鸞聖人を語る夕べ」

期日 11月25日(月)午後7時~9時

内容 第1部 音楽法要(宗祖讃仰作法)

第2部 講演 テーマ 「念仏者は社会問題とどう向き合うのか」

ご講師 小滝信生氏(震災支援を続ける会事務局長・連研中央講師)

(詳しくは同封のチラシをご覧ください。)

音楽法要への参加者を募集しています。

合唱活動の経験、並びに性別、年齢は問いません。どなたでもご参加頂けます。11月15日(金)午後7時より会館にて練習会を行いますのでどうぞご参加下さい。

## 御同朋の社会をめざす運動の「トナリ」

### 狭山事件を知っていますか？

狭山事件とは、埼玉県狭山市で一九六三（昭和三八）年五月に起きた女子高生誘拐・殺害事件のことです。五月一日、被害者の女子高生が下校後、行方不明になり、その夜、身代金要求の脅迫状が自宅に届きます。翌日の深夜、被害者の姉が身代金を持って犯人と接触しますが、張り込んでいた警察は犯人を取り逃がしてしまい、その二日後には被害者が遺体で発見されるという最悪の事態を迎えます。丁度、その二月前に「吉展ちゃん事件」でも同様の失態を演じ世論の大きな非難にさらされていた警察は、捜査の行き詰まりのなかで、現場付近の被差別部落に集中的に見込み捜査を行い、石川一雄さん（当時二四才）を別件で逮捕、「自分はやっていない」と否認する石川さんを一ヶ月も拘留し続け、ついには「殺しを認めれば十年で出られるようにしてやる」との刑事の甘言に、犯行を認める自白をさせられます。

そして、翌年三月、第一審の浦和地裁で死刑判決、あらためて事態の深刻さを知った石川さんは自白を否定、控訴した東京高裁では無期懲役の判決が下り、一九七七年八月、最高裁の上告が棄却、無期懲役が確定します。その後、数回に渡る裁判所への「特別抗告」や「異議申し立て」、「再審請求」の取り組みのなかで、当時の捜査の杜撰さ、物証や状況の様々な不合理な点、捜査結果を翻す新たな証言などが明らかになって来る中で、科学的根拠を無視した「自白偏重」の捜査であることが問題になってきました。この事は、足利事件（児童殺害）や志布志事件（選挙違反）、富山での氷見事件（強姦）などと同様の「警察による冤罪を生み出す構造」と言えるでしょう。

一方、「狭山事件」を生み出した背景には「被差別部落」への差別意識がありました。捜査にあたった警察はもとより、事件を報道するマスコミも差別を助長するような論調を展開し、「あんな非人間的な犯

罪をやるのは部落に違いない」との住民の差別意識を煽るようになりました。

本願寺派も加盟する『同和問題』に取り組む宗教教団連帯会議（同宗連）では、そのような社会の差別意識に対して無関心であったり、むしろ宗教が温存・助長してきたという歴史の反省にたつて、この狭山事件の再審の実現に向けての支援や啓発を行っています。今年五月には築地本願寺で「石川夫妻の幸せを願う宗教者の集い」も開催し、社会へのアピールも行いました。

事件発生から丸五十年が経ちました。この事件は、この国の警察や司法の問題ということだけではなく、もっと根本的な、出自によって人間の「善悪」を決め、人間性をも否定するという「人間のおぞましさ」を現した様に思われます。

親鸞聖人が出会われ、救いの目当てと思われた人々も、出自によって「悪人」とされた方々でありました。差別を学ぶことは、私たち自身の「人間性」、さらには「念仏」を問うことにつながることを思います。

【高岡教区教区主幹 浜野信宏】


### 『冤罪・狭山事件五十年』写真パネル展と映画上映会を開催

十一月二十五日から十二月二日にかけて西本願寺高岡会館二階にて写真パネル展を開催いたします。

また、映画『SAYAMA 見えない手錠をはずすまで』が十一月二十七日（水）午後二時から五時まで富山解放連主催で上映されます（参加費千円・詳細は別紙チラシ参照）

どなたでもご覧頂けますので、是非お誘い合わせのうえにご参加下さい。

これからの日程 ( 1 1 / 2 0 ~ 1 2 / 2 1 )

11月		
20	教区コース練習日	福光教堂報恩講
21	音楽法要習礼	( ~ 2 1 )
22		全国門徒総追悼法要
23		( ~ 2 3 ・ 本山 )
25	親鸞聖人を語る夕べ	高岡教務所事務休業のお知らせ 11月28~29日の2日間、職員研修旅行のため休業いたします。
26	会館報恩講	
27	長寿苑ビハーラ活動 富山解放連映画上映会	
28	職員研修旅行 ( ~ 2 9 )	
29		
12月		
2	仏婦常任委・単位会長会議 仏婦ダーナ募金集金日	
3	教区コース練習日	
4	雨晴苑ビハーラ活動 寺青役員会	
5	仏壮理事会・忘年会 連研のための研究会	
6	寺女連盟研修会	
7	中仏生のつどい	
11	常例法座	
14	中仏生のつどい	講社連盟もち米進納 ( ~ 6 ・ 本山 )
21	仏の子どものつどい	

ラジオ放送 ~ 西本願寺の時間 ~

『みほとけとともに』

北日本放送 ( K N B ) ・ 7 3 8 k H z .  
毎週土曜日 ( 本山制作 ) 午前 6:15 ~ 6:25  
第 2 ・ 4 日曜日 ( 富山 ・ 高岡制作 ) 午前 6:00 ~ 6:10

- 11/16 ( 土 ) : 木曾 隆 氏 ( 新潟県 ・ 長永寺 )  
「今を生きる」
- 11/23 ( 土 ) : 河智 義邦 氏 ( 島根県 ・ 明賢寺 )  
「悲しみの味わい」
- 11/24 ( 日 ) : 未 定 ( 富山教区 )
- 11/30 ( 土 ) : 河智 義邦 氏 ( 島根県 ・ 明賢寺 )  
「預かったいのち」
- 12/7 ( 土 ) : 松月 博宣 氏 ( 福岡県 ・ 海徳寺 )  
「アミダさまを聞くということ」
- 12/14 ( 土 ) : 松月 博宣 氏 ( 福岡県 ・ 海徳寺 )  
「おさとりの日によせて」
- 12/15 ( 日 ) : 未 定 ( 高岡教区 )
- 12/22 ( 土 ) : 内田 正祥 氏 ( 三重県 ・ 正覚寺 )  
「参らしてもらおうでね」

【西本願寺高岡会館12月の常例法座】

ご講師： 未 定

午後 1 時 2 0 分頃からビデオ上映、2 時から  
お正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘い  
あわせてお参りください。

編集後記

最近話題になってきている食品の虚偽表示が目を追うことにあまりにも多くなってきた。特に有名ホテルや百貨店等「高級」というイメージの所に集中しているが、これらの商品は、高価だが「安全」という「信用」もあつたはずだから消費者の立場からしたら騙されたという思いが強いのではないかと思う。

問題は多々あると思われるが、店舗側にとっては、毎日同じ物をお客様に出してはいるもの、毎回違ったお客様であるからわからないのではとタカをくくったのかもしれない。この問題で先人達が築き上げたブランドイメージは著しく失墜した。

ふと考えてみると、私達僧侶でも同じ事が言えるのではないか。先人たちが築き上げてきたみ教えに對しての「信用 ( 信心 )」を日々の法務とさせて頂き、皆さんに伝え続けていくこととしているが、「法事」等でお参りされている方は、毎回違うからわからないだろう」といふどこかに驕りが見えたとしたら私達僧侶も今回の問題と同様になるのではないかと思います。

お知らせ

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

一袋二枚入りで価格は次の通り

- ・特大箱 ( 175 袋 ) 7,000 円
- ・大 箱 ( 45 袋 ) 2,000 円
- ・小 箱 ( 16 袋 ) 900 円

お申込み先は・・・〒933-0003 高岡市能町1298

耳浦 康真 ( 本誓寺 ) Tel. & Fax. ( 0766 ) 23-9822